

# 阪神・淡路大震災による建築物等に係る被害

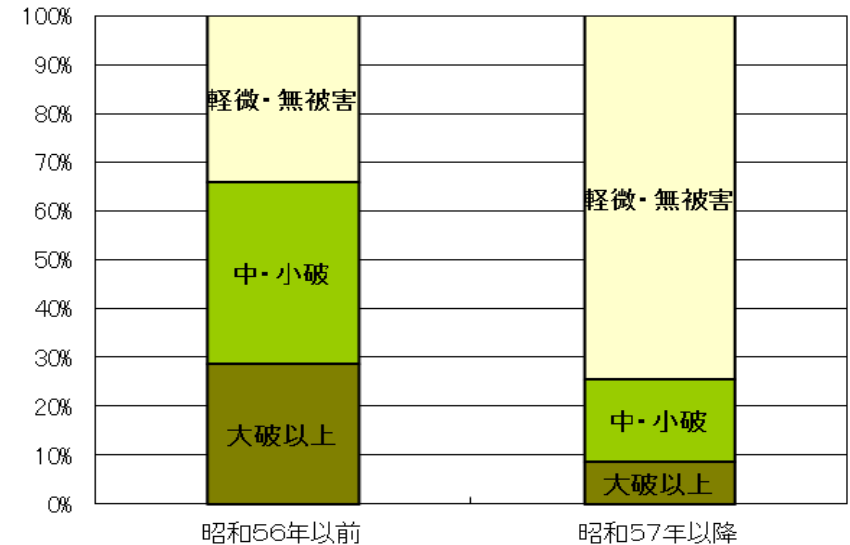
## ・阪神・淡路大震災における状況

死亡者の死因

	死者数
家屋、家具類等の倒壊による圧迫死と思われるもの	4,831 (88%)
焼死体（火傷死体）及びその疑いのあるもの	550 (10%)
その他	121 (2%)
合計	5,502 (100%)

※平成7年度版「警察白書」より(平成7年4月24日現在)警察庁調べ  
※消防庁:阪神・淡路大震災について(確定報、平成18年5月19日)による  
死者数は6,434名、全壊住家数は約10万5千戸

建築年別の被害状況（建築物）



(出典)平成7年阪神淡路大震災建築震災調査委員会中間報告

→ 死者数の大部分が建物等の倒壊が原因

→ 現在の耐震基準を満たさない昭和56年以前の建物に被害が集中